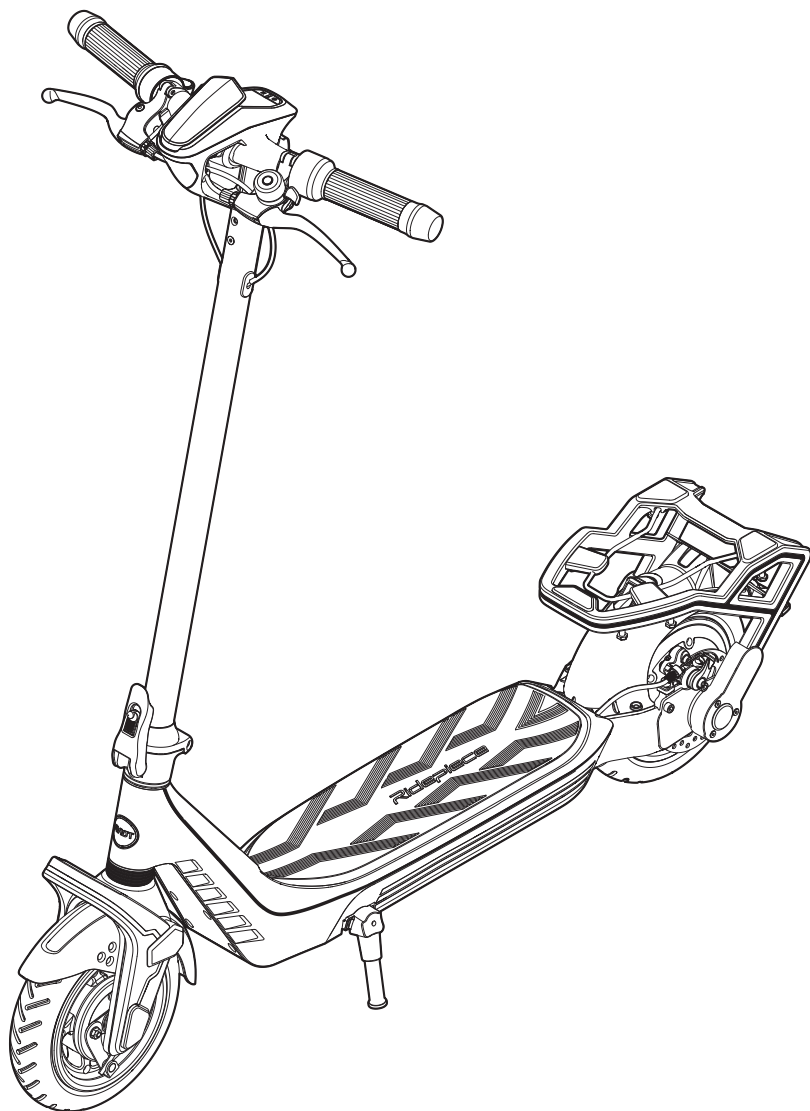


AVIOT

KB-S350 Ridepiece

電動キックボード

取扱説明書



動画マニュアルのご案内

- 下記の二次元コードを読み取り、開梱から組み立てまでの動画マニュアルを参照してください。
- 正しく安全に組み立てるため、事前に内容を確認してください。



開梱と組立

https://aviot.jp/support_rp/KB-S350/movie/kaikon/



基本操作

https://aviot.jp/support_rp/KB-S350/movie/setup/



スタンド使用方法

https://aviot.jp/support_rp/KB-S350/movie/use-stand/

取扱上のご注意

- 組み立てやメンテナンスの際は、指や手を挟まないよう注意してください。
- 本体の重量や可動部分に注意し、安全な場所で作業を行ってください。
- 落下や転倒を防ぐため、製品を高いところに置かないでください。

目次

はじめに	6
安全上のご注意	6
安全に関する表示	6
公道走行のご注意	7
使用上のご注意	8
各部の名称とスイッチ操作	9
●本体部分の名称	9
●メーター / 警告灯 / 表示灯の名称	11
●スイッチ操作について	11
本体の準備 / 組み立て	12
●同梱品の確認	12
●ハンドルステムとステムポールを組み立てる	13
使用する	14
●充電する	14
●本体を折りたたむ	15
ステムポールを折りたたむ	15
ステムポールを元に戻す	16
本体を持ち運ぶ	16
●キャリアラックスタンドを活用する	16
キャリアラックスタンドの上に物を載せる	16

キャリアラックスタンドを立てる	17
キャリアラックスタンドに鍵をかける	18
キャリアラックスタンドを元に戻す	18
キャリアラックスタンドを使って本体を縦置きで保管する	19

走行前の点検を行う 20

●走行前の点検事項	20
① 電源起動時の点検	20
② 走行モード切り替えの点検	20
③ ウィンカー（方向指示器）/ 最高速度表示灯の点検	20
④ ヘッドライトおよび テールランプ / ブレーキランプの点検	21
⑤ ブレーキの点検	21
⑥ タイヤの点検	21

走行する 21

●20km/h 車道走行モードで走行する	21
●6km/h 歩道走行モードで走行する	22
●オートクルーズ機能について	22
●走行距離を確認する	22

安全な運転操作のために 23

●走行に関するご注意	23
禁止されている走行	23
危険な走行	23

パスコードを設定する 23

●パスコードを入力する	23
-------------------	----

●パスコードを変更する.....	23
●パスコード入力を OFF にする	24
パスコード入力を ON に戻す	24
●パスコードをリセットする	24

日常点検とメンテナンス 24

●日常点検.....	24
●ブレーキの調節.....	25
前輪ブレーキ（ドラム式）の調節について	25
後輪ブレーキ（ディスク式）の調節について	25
●ステムポールのガタつき調整.....	25
ハンドルステムのガタつきを調整する.....	26
折りたたみレバー部のガタつきを調整する	26
ステムポールと本体の繋ぎ部のガタつきを調整する	26
●キャリーラックスタンドのゴムストッパーの摩耗、変形状態の点検...	27
●お手入れ.....	27
●保管方法.....	27

エラー表示 28

製品仕様 29

保証書.....	30
----------	----

はじめに

AVIOT 電動キックボードをお買い上げいただきありがとうございます。安全で快適に電動キックボードをお楽しみください。安全運転の基本として以下は重要ですので、お守りください。

- 本取扱説明書をよくお読みください。
- 取扱説明書の推奨手順に従ってください。
- 安全に関する表示を理解し、守ってください。

安全上のご注意

安全に関する表示

本取扱説明書には、お使いになる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解して本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 危険	この表示の注意事項を守らず、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重大な傷害に至ります。
 警告	この表示の注意事項を守らず、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重大な傷害に至る可能性があります。
 注意	この表示の注意事項を守らず、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定されたり、物的損害を与えたりすることがあります。

危険

- 電源は AC100V を使用してください。
定格外のものを使用すると火災の恐れがあります。
- 電源プラグや充電プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。
- 電源プラグや充電プラグは根元まで完全に差し込んでください。
感電や火災の恐れがあります。
- 屋外の雨に濡れるところや浴室・洗面台など水のかかる場所で充電したり、保管・放置しないでください。
感電や火災の恐れがあります。
- 火気に近づけないでください。
火災や破裂によりけがをする恐れがあります。
- 窓を閉めきった車中や直射日光のあたるところ、高温になるところにバッテリーを放置しないでください。
火災や破裂によりけがをする恐れがあります。
- アダプター・コード・プラグが傷んだものは使用しないでください。
感電や火災の恐れがあります。
- 分解や改造はしないでください。
感電や火災の恐れがあります。

警告

- バッテリー・充電アダプター・コードは本車両専用です。その他の用途に使用しないでください。
火災や破裂によりけがをする恐れがあります。
- バッテリーを充電する際は専用の充電アダプターを使用してください。
他の充電器を使用すると、火災やバッテリーの破裂によりけがをする恐れがあります。
- 充電中はバッテリーやアダプターの上や近くに物を置いて放熱を妨げないでください。
火災の恐れがあります。
- バッテリーやアダプターを落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
バッテリーやアダプターが破損し、火災の恐れがあります。
- 端子に金属などを接触させない。また、針金などの金属の上に置いたり、一緒に保管・放置しないでください。
感電や火災の恐れがあります。

- 充電が完了したら、プラグをバッテリーから必ず外してください。
差し込んだまま放置すると火災の原因となります。
- 長時間使用しない際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の恐れがあります。
- コードを抜き差しする際はプラグを持って抜き差ししてください。また、コードを持ってバッテリーやアダプター持ち上げたりしないでください。
破損や火災、感電の恐れがあります。
- バッテリーやアダプターに万が一不具合が生じた際は、速やかに使用を中止し、販売店もしくは AVIOT カスタマーセンター (P.30) にご連絡ください。
ご自身での分解、修理は行わないでください。火災やけがの原因となります。
- お手入れの際にベンジン、シンナー、アルコールを使用しないでください。
本製品の劣化や火災の原因となる恐れがあります。
- 幼児の手の届くところに置かないでください。
感電やけがの恐れがあります。

⚠ 注意

- 電源が入っている状態で点検を行わないでください。
思わぬ事故やけがの恐れがあります。
- 毎回使用開始前に充電をし、部品の破損の有無など日常点検を行ってください。
そのまま使用を続けると事故の原因となる恐れがあります。
- 使用前に各部品に緩みやたつきなどがないか、必ず点検を行なってください。
各部にゆるみや変形、ひび割れしている部分などがないか使用前に必ず確認してください。安全な装備で使用してください。
- 走行中に異音が発生したり、異常を感じたら使用を中止してください。販売店で点検・整備してください。
そのまま使用を続けると事故の原因となる恐れがあります。異常に熱くなる、異臭がする、煙が出る、等の異常を感じた場合は直ちに使用を中止してください。
- 本製品が傷ついたり破損した場合やブレーキに異常を感じた場合、直ちに使用を中止して、電源を切ってください。無理に運転しないでください。
- 走行直後は駆動部などには触れないでください。
稼働部が高温になっていることがあり、火傷やけがの恐れがあります。
- 不安定な場所は避けて必ず平らな場所に駐輪してください。また風が強い時などの屋外での駐輪はお止めください。
車両が倒れて破損やけがをする恐れがあります。
- 引火性のもの、可燃物、火気のあるものの近くで保管・使用しないでください。
灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、トナー、可燃性ガス（スプレー）などの引火性のもの、たばこの吸い殻などの火気のあるもの、トナーなどの可燃物の近くで保管・使用しないでください。
- 万が一、バッテリーから液が漏れた場合は、以下の注意事項を守ってください。
 - ・皮膚や衣服につかないように注意してください。
 - ・目に入った場合は直ちにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
 - ・皮膚についた場合は直ちにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。

公道走行のご注意

- 本製品はスポーツエンターテインメントツールです。
主に一般的な移動手段（通勤、短距離移動、レジャー、買い物など）やエンターテインメント用として使用してください。
- 本製品は公道で使用可能な「特定小型原動機付自転車」および歩道で使用可能な「特例特定小型原動機付自転車」に対応した電動キックボードです。
- 「特定小型原動機付自転車」として使用する際は、原則として車道を通行しなければなりません。
道路では、原則として左側端によって通行し、右側を通行してはなりません。
- 「特例特定小型原動機付自転車」として歩道等を通行する場合
6km/h 歩道走行モードで時速 6 km 以内で走行している場合に限り、道路標識等により歩道を通行できます。

- 「特定小型原動機付自転車」および「特例特定小型原動機付自転車」の詳細については、警察庁のホームページを確認してください。
改正法…道路交通法の一部を改正する法律（令和4年法律第32号）
特定小型原動機付自転車に適用される道路運送車両の保安基準
道路交通法施行規則…道路交通法施行規則の一部を改正する内閣府令（令和5年内閣府令第17号）による改正後の道路交通法施行規則（昭和35年総理府令第60号）
道路運送車両の保安基準 …道路運送車両の保安基準の一部を改正する省令（令和4年国土交通省令第91号）による改正後の道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）
改正法の施行の日（令和5年7月1日）
- 公道を走行するにはナンバーの取得、自賠責保険への加入が必要です。
お住まいの地域によって手続きなどが異なる場合があります。詳細はお住まいの地方自治体（市町村役場）へお問い合わせください。
- 道路運送車両の保安基準に適合し「性能等確認済シール」が貼られている必要があります。
性能等確認済シールは本体の充電ポートの近くに貼られています。使用前に必ず確認してください。万が一、貼られていない場合は、AVIOTカスタマーセンター（P.30）へお問い合わせください。
- 法律で定められた交通ルールを守って使用してください。
- 16歳未満の方の運転は禁止です。16歳未満の方に対して特定小型原動機付自転車を提供することも禁止されています。公道や歩道のそれぞれのルールや法律に則り使用してください。
- 2人以上で乗らないでください。
本製品は1人用です。小さなお子様などを前に乗せるなど、2人以上での使用はしないでください。
- 本製品の最高速度は時速20kmです。
- アルコール摂取後の使用は法律で禁止されています。絶対にお止めください。
眠気を伴う薬の服用後や体調不良の場合も使用をお控えください。
- 運転中のスマートフォンの操作、動画視聴、イヤホンを装着しての音楽鑑賞は絶対にお止めください。
衝突や事故の原因となり大変危険ですので絶対にお止めください。
- 使用時はヘルメットやプロテクター、グローブなどの安全装備を装着してください。
裸足での使用は危険ですのでお止めください。滑りやすい靴やかかとの高い靴を履いて乗らないでください。

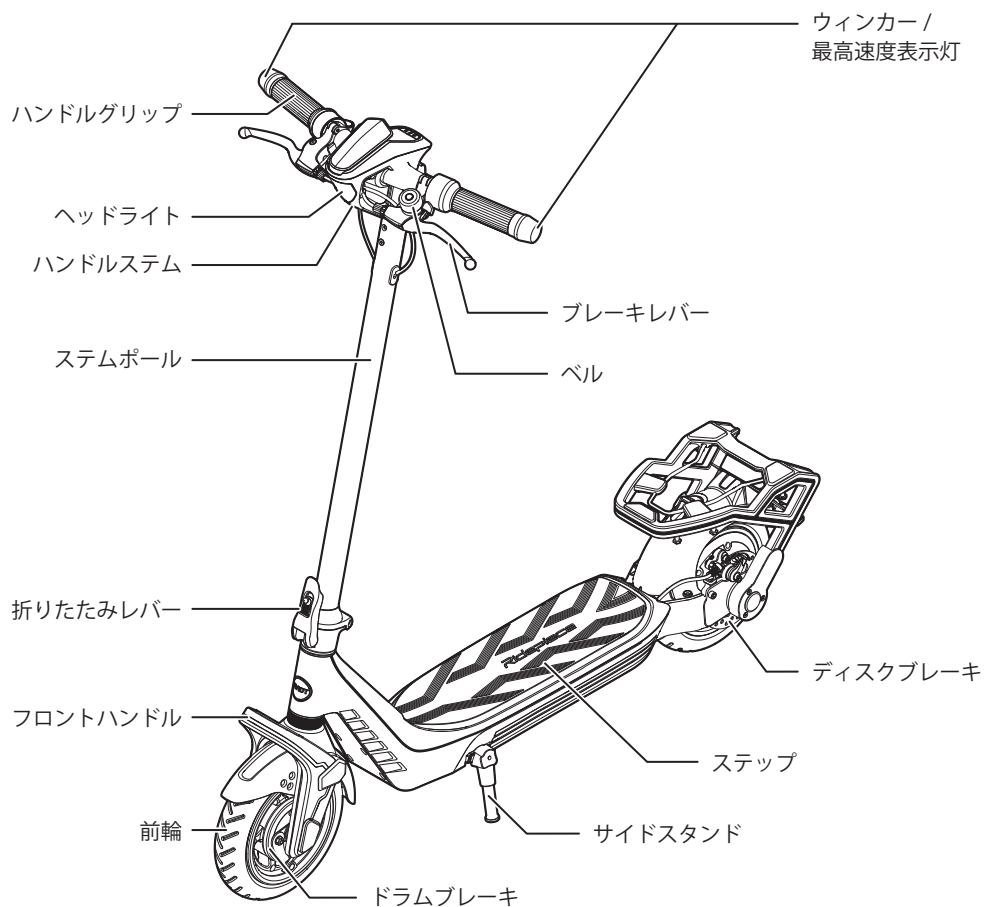
使用上のご注意

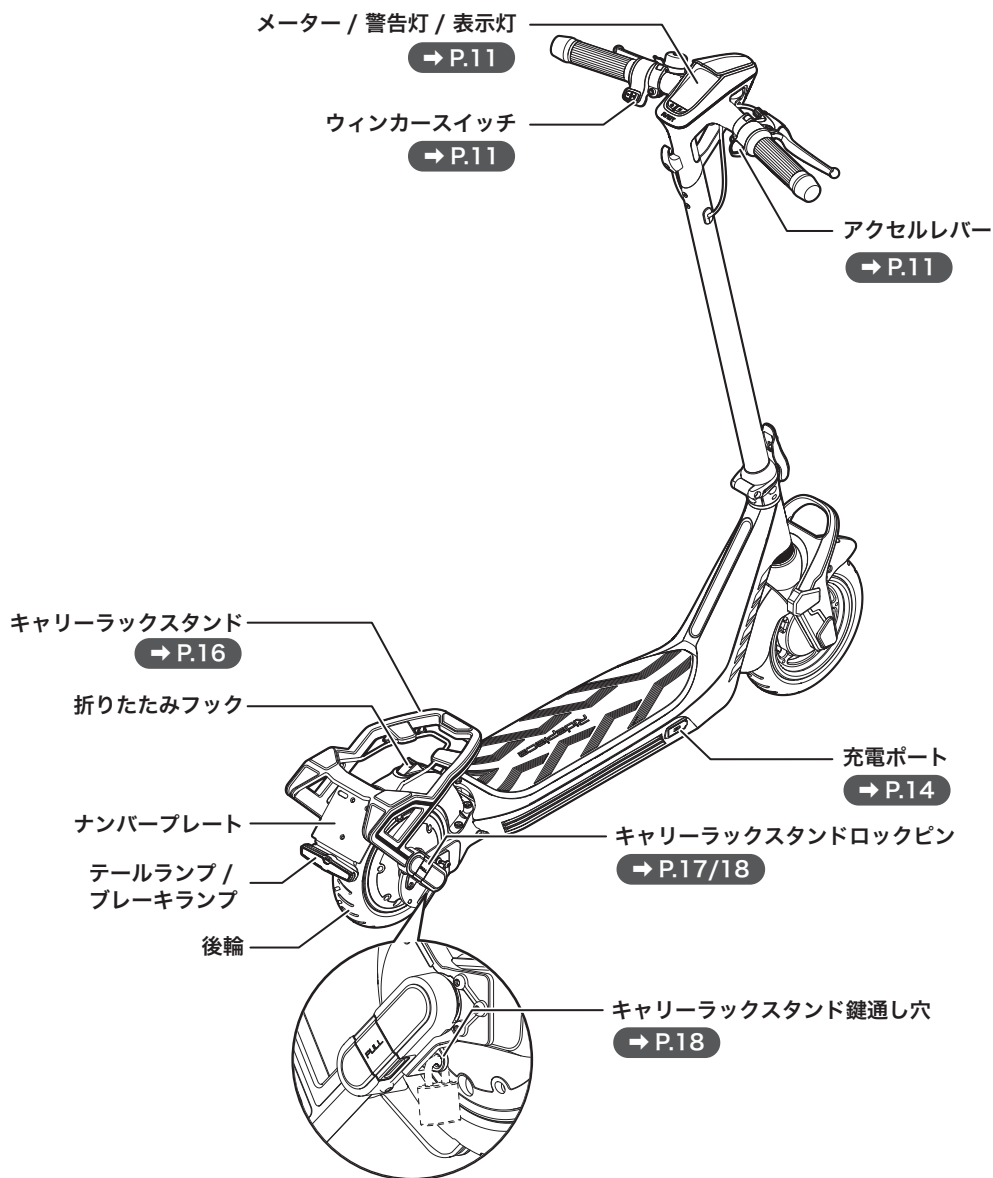
本製品を安全にお使い頂くために、お使いになる前に本取扱説明書を必ずお読み頂き、正しくお使いください。本取扱説明書は必要な時に参照できるように大切に保管してください。

- 使用前に必ず本取扱説明書を読み、本製品の各機能を十分理解したうえで使用してください。
- 本製品の仕様や外観などは改良のため予告なく変更する場合があります。
- バッテリーの劣化、タイヤの過度の摩耗、ステムボールのきしみ音などの異常が見つかった場合などの経年劣化による変質、機能低下などの現象に起因する故障やトラブルに関して当社は一切の責任を負いません。
- 当社は、運転者の過失または本取扱説明書の指示に従わなかったことに起因するいかなる死傷者または損失についても責任を負いません
- 荷物などの運搬には注意してください。
腕やハンドルに荷物や傘を引っ掛けたり、ステップ部分に荷物を置いて走行するなどの行為はお止めください。荷物が車輪に巻き込まれてバランスを崩して転倒する恐れがあります。
- キャリアラックスタンドの上に横幅（60cm）を超えるものを載せないでください。
横幅が60cmを超えてしまうと特定小型原動機付自転車の条件で走行ができません。
荷物はみだしによる接触や不適切な固定方法で落下した事故などには当社は一切責任を負いません。
- スピードの出し過ぎ、急な下り坂、急カーブでの走行は十分に注意してください。
下り坂でスピードが過過ぎるとハンドル操作が難しくなり危険です。また、濡れた道ではスリップなどの恐れがあります。無謀な運転はお止めください。
- 本製品に衝撃を与えると、強く引っ張る、圧迫するなど乱暴に扱わないでください。
発熱や発火、感電、けがの原因となります。
- 雨や強風などの天候不順時、道の悪い場所では使用しないでください。
雨や強風、天候不順時の使用はお止めください。また滑りやすい地面や凸凹のある場所、水たまりなどでの使用はお止めください。

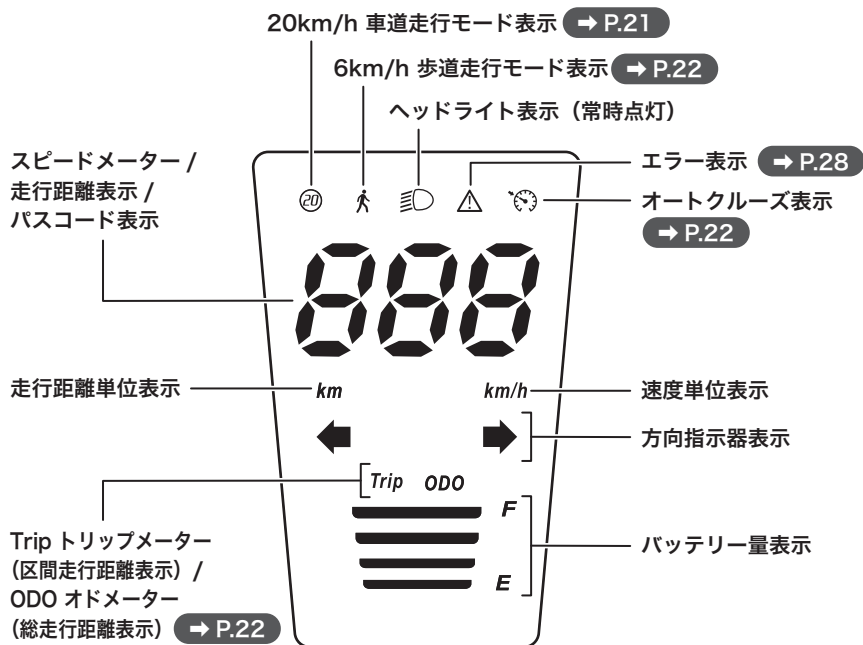
各部の名称とスイッチ操作

●本体部分の名称

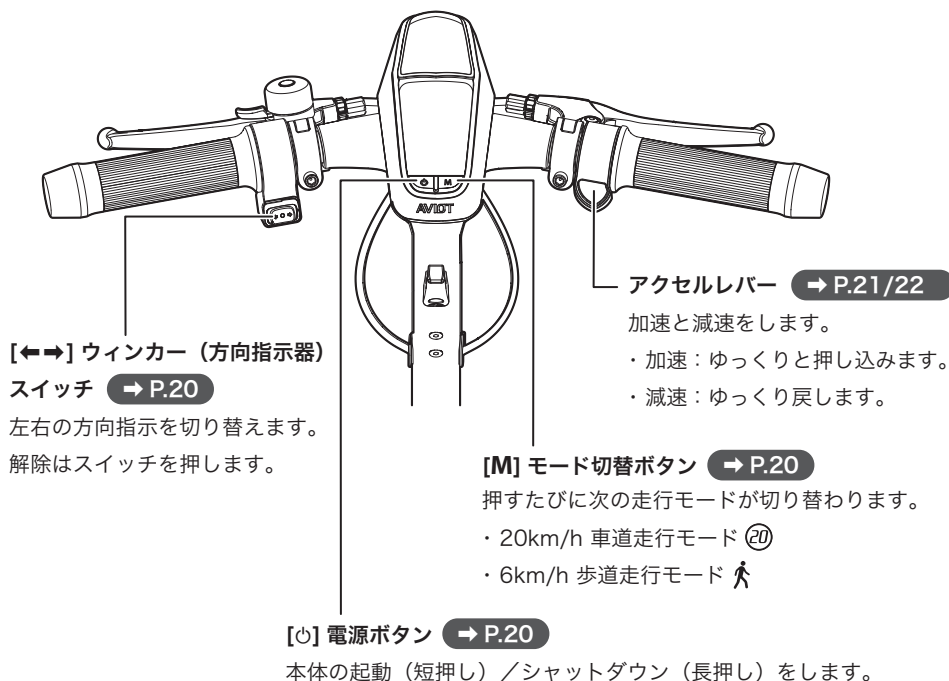




●メーター / 警告灯 / 表示灯の名称



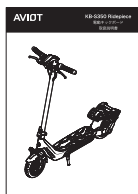
●スイッチ操作について



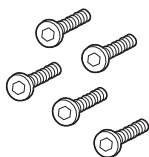
本体の準備 / 組み立て

●同梱品の確認

本体のほかに、以下の付属品が入っていることを確認してください。



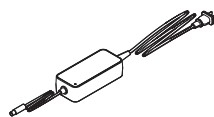
取扱説明書 ×1



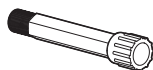
取付ねじ ×4
(+予備 ×1) ※1



六角レンチ ×1



充電器 ×1



タイヤ空気充填延長
バルブ ×1 ※2



ゴムパット予備 ×3 ※3

※1 取付ねじは本体を組み立てる際に使用します。

※2 タイヤ空気充填延長バルブは後輪専用です。

※3 キャリーラックスタンドのゴムストッパーに使用します。詳しくは「キャリーラックスタンドのゴムストッパーの摩耗、変形状態の点検」(P.27)を参照してください。

⚠️ ご注意

- タイヤ空気充填延長バルブは購入できません。紛失に注意してください。

●ハンドルステムとステムポールを組み立てる

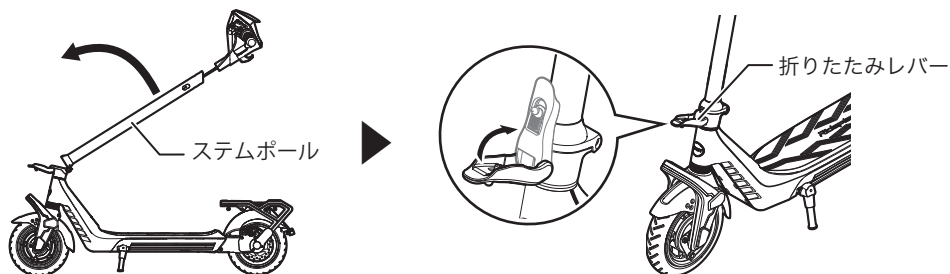
本製品を個装箱から取り出した後、サイドスタンドを立て本体を平坦な場所において、次の手順で組み立ててください。

⚠️ ご注意

- ・ 1人での組み立ては部品の落下やけがをする恐れがあるため、2人での組み立てを推奨します。

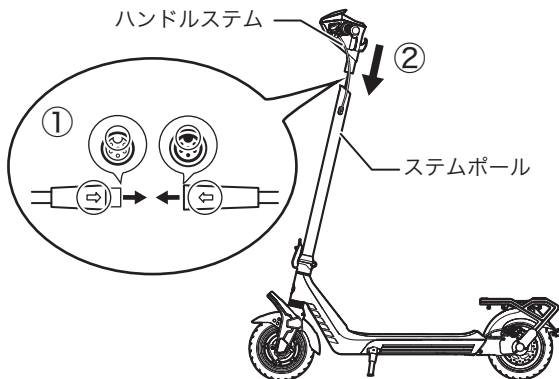
1 ステムポールを立てて、折りたたみレバーで固定します。

固定していない状態で手を離すと、ステムポールが落下して危険です。必ず固定されていることを確認してから手を離してください。



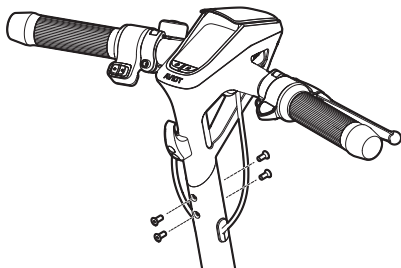
2 配線し、ハンドルステムをカッチと音がするまでステムポールに押し込みます。

配線はコネクターの矢印の位置（両端子の凹凸位置）を合わせてからしっかり奥まで差し込み、確実に接続してください。位置がずれた状態で無理に差し込むとピンが曲がったり折れたりして故障の原因となります。また、ハンドルステムを押し込む際は配線を挟み込まないように注意してください。



3 ハンドルステムとステムポールを付属の取付ねじ 4 本で固定します。

- ・ 取付ねじは付属の六角レンチで締め付けてください。
- ・ はじめに 4 つのねじを順番に相互の穴に差し込み、お互いに締め付けてください。



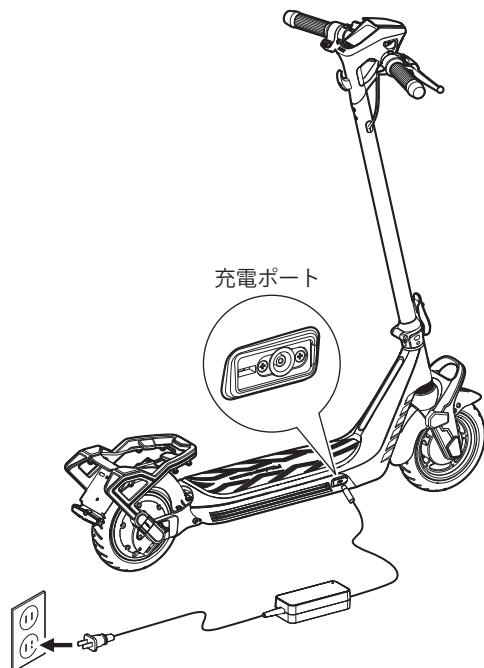
使用する

●充電する

最初の使用時には十分に充電をしてから使用してください。

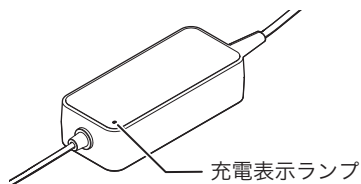
⚠️ ご注意

- ・ バッテリーを使い切ったら、バッテリーの消耗を避けるためにすぐにバッテリーを充電してください。
- ・ バッテリーの充電が完了したら、すぐに充電ポートから電源コードを抜いてください。
- ・ 充電完了後はバッテリーを長い間充電したままの状態では放置しないでください。



充電ポート

- 1 充電ポートの防塵キャップ開けて、充電ポートに付属の充電器の充電コードを挿入します。
- 2 充電器のコードをコンセントに差し込んで充電を開始します。
充電時は充電器の充電表示ランプの色で充電の状態を表します。
 - ・ 赤色：充電中
 - ・ 緑色：充電完了



満充電までに必要な充電時間は約 4 時間です（使用条件により異なります）。

- 3 充電完了後、充電ポートから充電コードを抜いて防塵キャップを閉じます。
- 4 充電器のコードをコンセントから抜きます。

●本体を折りたたむ

ステムポールを折りたたんでコンパクトにすることで本体を持ち運びやすくなります。また、キャリアラックスタンドを立てていない状態で本体を折りたたむことで、フロントハンドルを持って本体を引っ張りながら移動することもできます。

キャリアラックスタンドを立てた状態でも同じ方法で本体を折りたたむことができます。この場合、本体を縦置きにすることができ、省スペースで保管することができます(→「キャリアラックスタンドを使って本体を縦置きで保管する」(P.19 参照))。

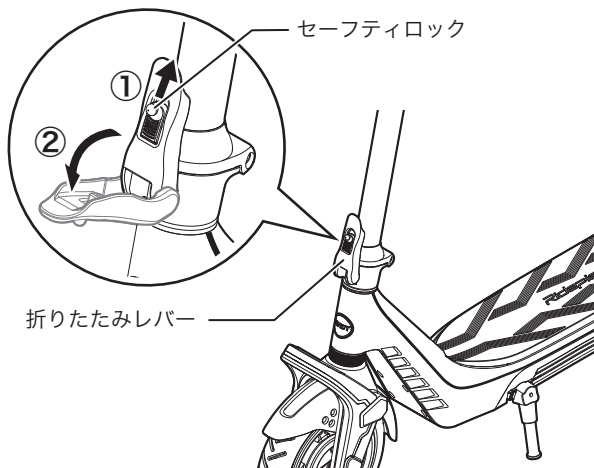
⚠ ご注意

- 本体を折りたたむときは、シャットダウンしてください。
- 折りたたみが完了するまで、ステムポールから手を離さないでください。

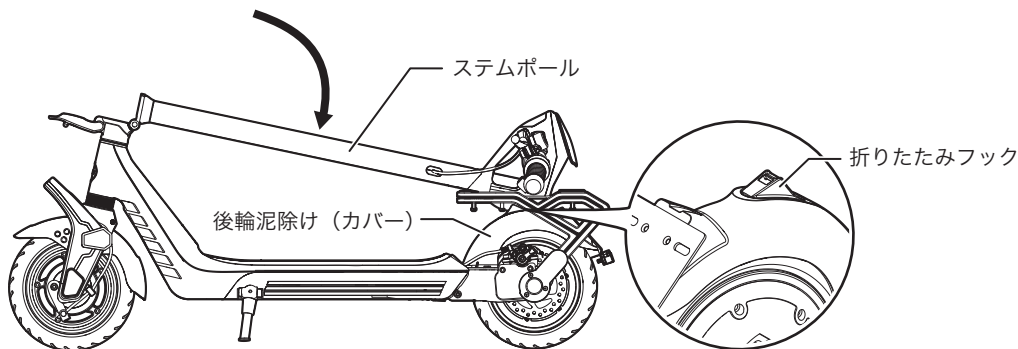
ステムポールを折りたたむ

ステムポールを折りたたむときは、事前にサイドスタンドを立ててください。

- 1 折りたたみレバーのセーフティロックを上げてロックを解除してから、折りたたみレバーを開きます。



- 2 ステムポールを支えて本体の後方側へ折りたたみ、ハンドルステムのフックを後輪泥除け(カバー)の上の折りたたみフックに合わせて止めます。



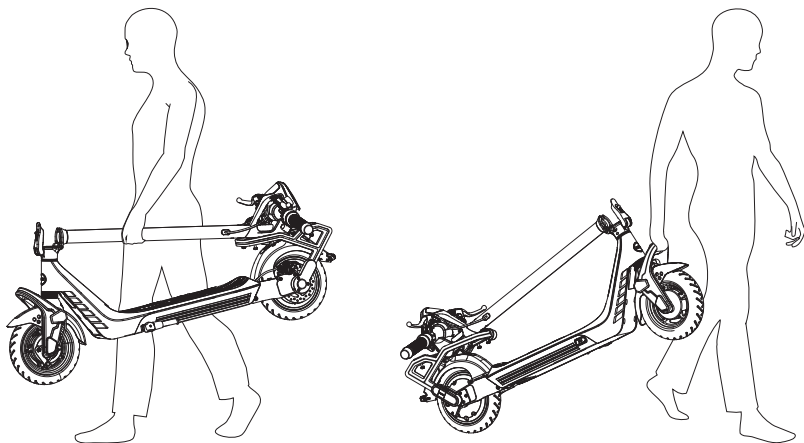
ステムポールを元に戻す

折りたたみフックを解除してからステムポールを前方へ立て、折りたたみレバーで固定してください。

本体を持ち運ぶ

本体を折り畳んだ後は、バスや地下鉄、車のトランクに入れることができます。

フロントハンドルを持ち、引っ張って移動することもできます。



●キャリーラックスタンドを活用する

キャリーラックスタンドに小さな物を載せて移動することができます。また、キャリーラックスタンドを立てて鍵をかけることで盗難防止に役立ちます。

キャリーラックスタンドを立てた状態で本体を折りたたむ事も可能です。この場合、本体を縦置きにすることができ、省スペースで保管することができます。

⚠️ ご注意

- 縦置きにする際は、必ずステムポールを折りたたんでください。折りたたまない状態で縦置きにすると、本体が倒れて破損やけがの原因となります。

キャリーラックスタンドの上に物を載せる

キャリーラックスタンドの上に横幅が 60 cm までの物を載せ、市販のゴムバンドなどでしっかりと固定します。

横幅 (60 cm) を超える物を載せないでください。積載重量は 5 kg までです。

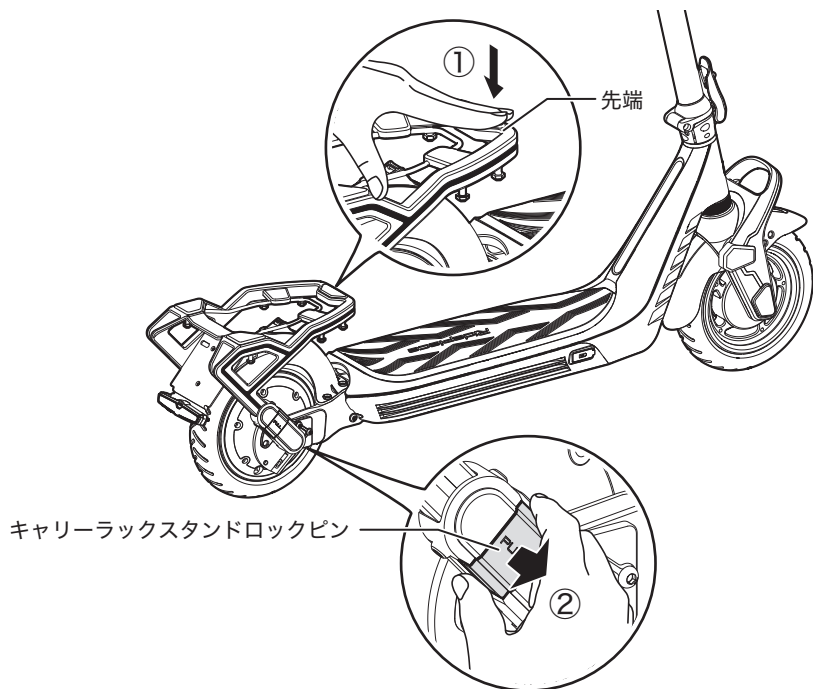
⚠️ ご注意

- 横幅が 60 cm を超える場合、特定小型原動機付自転車の条件で走行することができなくなります。
- 高く積み上げて倒れやすい積み方をしないでください。また、載せたものが落ちないようにしっかりと固定してください。
- ゴムバンドは本製品に付属していません。市販品をご用意ください。

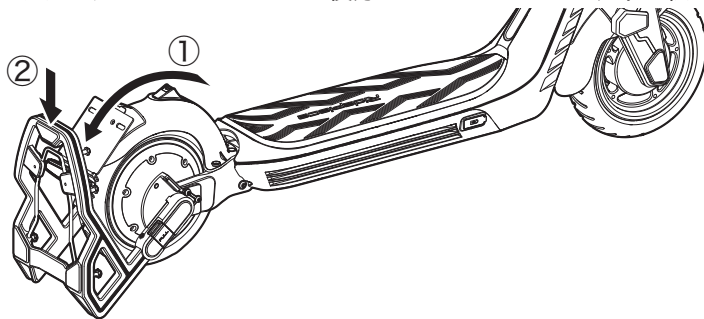
キャリーラックスタンドを立てる

キャリーラックスタンドを立てるときは、事前にサイドスタンドを立ててください。

- 1 キャリーラックスタンドの先端を下に軽く押しながらキャリーラックスタンドロックピンを引き、ロックを解除します。



- 2 キャリーラックスタンドを立てるように後方へスライドしてから、下へ軽く押します。



カチッと音がし、ロックピンが内側に沈んだら正しくセットされたことになります。

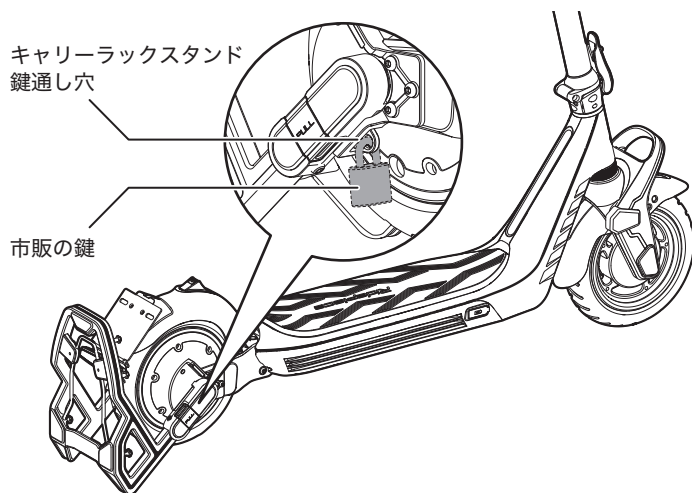
キャリーラックスタンドに鍵をかける

盗難防止のため、キャリーラックスタンドに鍵をかけて固定することができます。

⚠️ ご注意

- 鍵は本製品に付属していません。市販品をご用意ください。

- 1 キャリーラックスタンドを立てます。(P.17)
- 2 キャリーラックスタンド鍵通し穴に市販の鍵をかけます。



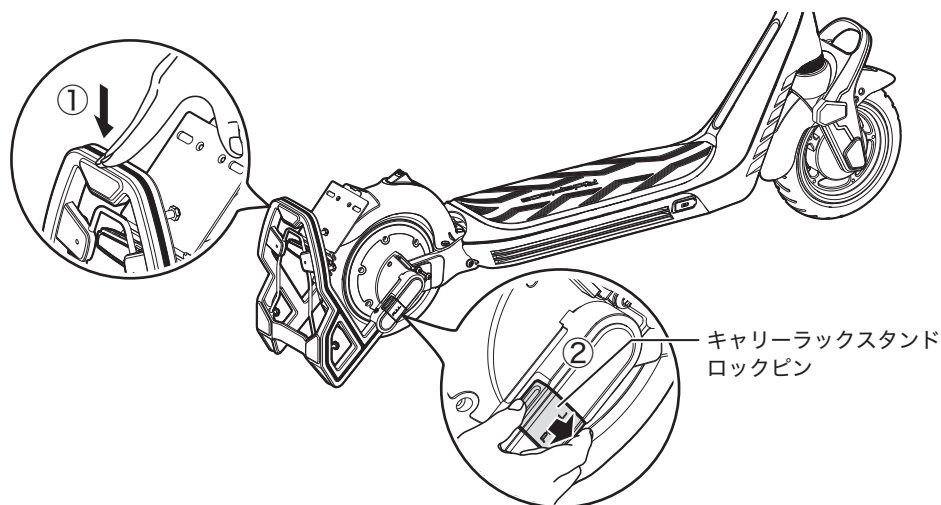
キャリーラックスタンドで後輪が浮いているため走行することができなくなります。

キャリーラックスタンドを元に戻す

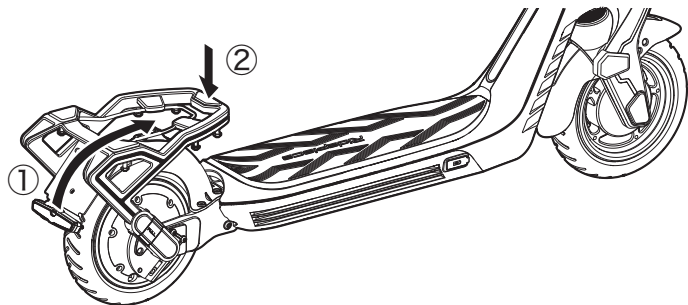
キャリーラックスタンドを元に戻すときは、事前にサイドスタンドを立ててください。

鍵をかけている場合は取り外してください。

- 1 キャリーラックスタンドを後方に軽く押してからキャリーラックスタンドロックピンを引き、ロックを解除します。



- 2** キャリーラックスタンドを元の位置にスライドしてから、下へ軽く押します。

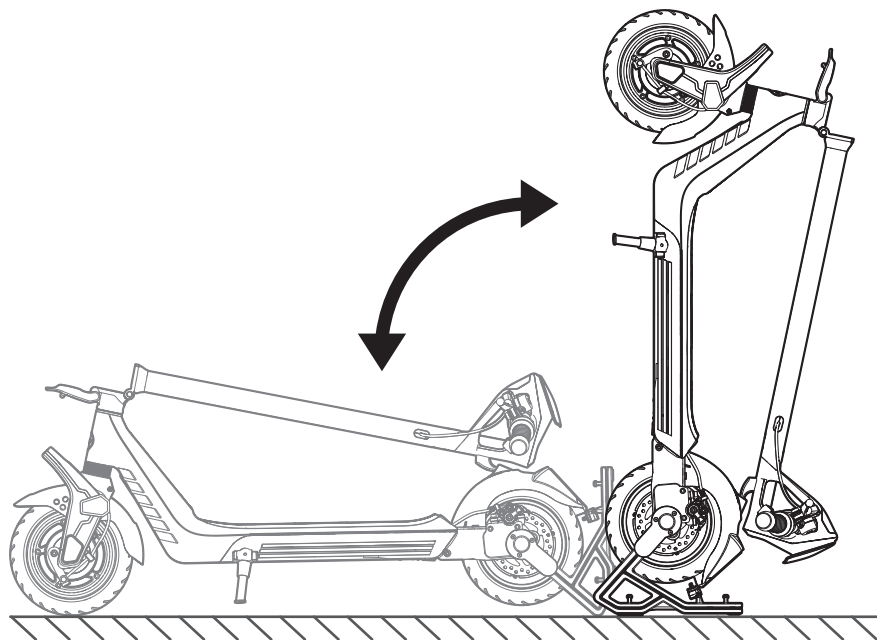


カチッと音がし、ロックピンが内側に沈んだら正しくセットされたことになります。

キャリーラックスタンドを使って本体を縦置きで保管する

キャリーラックスタンドを立てて本体を折りたたむことで縦置きにすることができます。縦置きで保管することで狭い玄関などでも本体を保管できるようになります。

- 1** キャリーラックスタンドを立てます。(P.17)
- 2** ステムポールを折りたたみます。(P.15)
- 3** 本体を持ち上げて、縦置きにします。



走行前の点検を行う

●走行前の点検事項

走行する前に正しく起動するか、次の①～⑥までの項目を点検してから走行してください。

① 電源起動時の点検

1 [⏻] 電源ボタンを押します。

本体が正常に起動し、パスコード入力画面が表示されるか確認します。

2 [M] モード切替ボタンで数値を選択して、[⏻] 電源ボタンで決定し、3桁のパスコードを入力します。

初期起動時のパスコードは「000」です。パスコードを入力すると本体を使用できるようになります。

パスコードは変更したり、入力を OFF にすることができます。詳しくは「パスコードを設定する」(P.23) を参照してください。

3 バッテリー残量を確認します。

バッテリーが十分に充電されているか確認します。



② 走行モード切り替えの点検

走行モードの切り替えは、停止状態で行ってください。

1 [M] モード切替ボタンを押します。

押すたびに「20km/h 車道走行モード」(初期起動時)と「6km/h 歩道走行モード」が切り替わります。

2 選んだ走行モードの状態を確認します。

20km/h 車道走行モードの場合：

- ・ディスプレイに「20km/h 車道走行モード表示」 が点灯しているか確認します。
- ・ハンドルグリップ両端の最高速度表示灯が緑点灯しているか確認します。

6km/h 歩道走行モードの場合：

- ・ディスプレイに「6km/h 歩道走行モード表示」 が点灯しているか確認します。
- ・ハンドルグリップ両端の最高速度表示灯が緑点滅しているか確認します。

③ ウィンカー (方向指示器) / 最高速度表示灯の点検

1 [←→] ウィンカー (方向指示器) スイッチで左右の方向指示を切り替えます。

- ・ハンドルグリップ両端のウィンカーが左右とも正常に点滅しているか確認します。
- ・ウィンカーのカバーに割れ、大きな傷などがないか確認します。

2 最高速度表示灯を確認します。

20km/h 車道走行モードの場合は緑点灯、6km/h 歩道走行モードの場合は緑点滅しているか左右ともに確認します。

④ ヘッドライトおよび テールランプ / ブレーキランプの点検

- 1 ヘッドライト、テールランプが点灯しているか確認します。
 - ・ヘッドライトとテールランプは、本体の起動中は常時点灯します。
 - ・ヘッドライトのカバーに割れ、大きな傷などがないか確認します。
- 2 左右のブレーキレバーを握ります。
 - ・ブレーキランプが点灯しているか確認します。
 - ・テールランプ / ブレーキランプのカバーに割れ、大きな傷などがないか確認します。

⑤ ブレーキの点検

安全な場所でブレーキを軽く動作させてブレーキの効き具合を確認します。

- ・ 左右のブレーキレバーを握ります。
ブレーキが正常に動作しているか確認します。

⑥ タイヤの点検

- 1 前後輪タイヤの亀裂、損傷を確認します。
タイヤの接地部分や側面に亀裂、大きな傷などがないか確認します。
- 2 前後輪タイヤの空気圧を確認します。
タイヤの接地部分のたわみを確認し、空気圧が不足していないか確認します。

走行する

「走行前の点検事項」(P.20)を確認してから走行してください。

●20km/h 車道走行モードで走行する

- ・初期起動時は、「20km/h 車道走行モード」に設定されています。
- ・モードの切り替えは、必ず停止状態で行ってください。
- ・「20km/h 車道走行モード」は、停止状態ではアクセルレバーは効かず走り出しません。初速 3 km/h 以上の速度まで片足で地面を軽く蹴る必要があります。

- 1 **[⏻] 電源ボタン**を押して本体を起動します。
- 2 **パスコード**を入力します。
 - ・初期起動時のパスコードは「000」です。
 - ・**[M] モード切替ボタン**で数値を選択して、**[⏻] 電源ボタン**で決定し、3桁のパスコードを入力します。詳しくは「パスコードを入力する」(P.23)を参照してください。
- 3 **[M] モード切替ボタン**を押して「20km/h 車道走行モード」に切り替えます。
 - ・ディスプレイに「20km/h 車道走行モード表示」②①が点灯します。
 - ・ハンドルグリップ両端の最高速度表示灯が緑点灯します。
- 4 片足をステップの上に乗せ、初速 3 km/h 以上の速度で進み始めるまでもう一方の片足で地面を軽く蹴ります。
- 5 本体が安定してから、アクセルレバーをゆっくり押し込んでバランスを取りながら走り出します。
 - ・アクセルレバーで速度を調節しながら走行してください。
 - ・減速、停止するときは左右のブレーキレバーを適度に握って減速してから、片足を地面に着けてゆっくりと停止してください。
 - ・交差点などを曲がる際は十分速度を落とし、曲がりたい方向のウィンカーを点けてからハンドルを切って曲がってください。

●6km/h 歩道走行モードで走行する

- ・初期起動時は、「20km/h 車道走行モード」に設定されています。
- ・モードの切り替えは、必ず停止状態で行ってください。
- ・「6km/h 歩道走行モード」は、停止状態でもアクセルレバーが効いて走り出します。操作には十分注意してください。

1 [⓪] 電源ボタンを押して本体を起動します。

2 パスコードを入力します。

- ・初期起動時のパスコードは「000」です。
- ・[M] モード切替ボタンで数値を選択して、[⓪] 電源ボタンで決定し、3桁のパスコードを入力します。詳しくは「パスコードを入力する」(P.23)を参照してください。

3 [M] モード切替ボタンを押して「6km/h 歩道走行モード」に切り替えます。

- ・ディスプレイに「6km/h 歩道走行モード表示」が点灯します。
- ・ハンドルグリップ両端の最高速度表示灯が緑点滅します。

4 片足をステップの上に乗せ、もう一方の片足は地面に着けてバランスを取ります。

5 アクセルレバーをゆっくり押し込んでバランスを取りながら走り出します。

- ・アクセルレバーで速度を調節しながら走行してください。
- ・減速、停止するときは左右のブレーキレバーを適度に握って減速してから、片足を地面に着けてゆっくりと停止してください。
- ・交差点などを曲がる際は十分速度を落とし、曲がりたい方向のウィンカーを点けてからハンドルを切って曲がってください。

●オートクルーズ機能について

アクセルレバー操作を一定の速度で8秒間維持するとオートクルーズ状態となり、アクセルレバーを押し込まなくても同じ速度で走行します。このときディスプレイにはオートクルーズ表示が点灯します。

- ・オートクルーズ中に次のいずれかの操作を行うと、オートクルーズ状態は解除されます。
 - アクセルレバーを押し込む
 - ブレーキをかける
 - [⓪] 電源ボタンまたは [M] モード切替ボタンを押す
- ・オートクルーズ機能を OFF にすることはできません。

●走行距離を確認する

本体が製造されてからこれまで走ってきた総走行距離（ODO）と、起動してからシャットダウンするまでの間に走った区間走行距離（Trip）を表示することができます。

・ [M] モード切替ボタンを長押しします。

総走行距離（ODO）または区間走行距離（Trip）を表示します。

再度、[M] モード切替ボタンを長押しすることで、総走行距離（ODO）または区間走行距離（Trip）の表示を切り替えます。

安全な運転操作のために

●走行に関するご注意

- 本製品はスポーツエンターテインメントツールです。
主に一般的な移動手段（通勤、短距離移動、レジャー、買い物など）やエンターテインメント用として使用してください。
- 法律で定められた交通ルールを守って使用してください。
- 使用時はヘルメットやプロテクター、グローブなどの安全装備を装着するようにしてください。

禁止されている走行

- 本製品を起動したまま押して歩くときは、アクセルレバーを押さないでください。
- ハンドル部分に買い物袋などをぶら下げたまま走行しないでください。
- 雨天の走行はお止めください。
- 下り坂では、アクセルレバーを押して加速しないでください。
- 高速で凹凸な路面を走行しないでください。

危険な走行

- ハンドルグリップは両手で持ち、片手で走行しないでください。
- 走行中に片足を上げるなど危険動作をしないでください。
- 2 cm 以上の深さの水の中を走行しないでください。
- 高速走行中に製品本体を左右に振ったり、ハンドルを大きく切ったりして走行しないでください。
- 後輪泥除け（カバー）に足を載せて走行しないでください。

パスコードを設定する

●パスコードを入力する

初めての起動時は、初期設定パスコードとして「000」が設定されています。

- 1 **[○] 電源ボタン**を押して本体を起動します。
パスコード入力画面「---」が表示されます。
パスコード入力画面表示中はすべての灯火装置が消灯状態となります。この状態で本体を前後に動かすと、ヘッドライトとブレーキランプが点滅しますが故障ではありません。
- 2 **[M] モード切替ボタン**を押して数値を選択し、**[○] 電源ボタン**を押して数値を決定します。
3桁のパスコードを入力します。初期起動時のパスコードは「000」です。
- 3 最後に **[○] 電源ボタン**を 2 回続けて押してパスコードの入力を確定します。
パスコードを入力すると本体を使用できるようになります。

●パスコードを変更する

本体を起動してパスコード入力完了している場合に、パスコードをお好みの数字 3 桁に変更できます。パスコードの変更操作は中断できません。下記手順を完了させてください。

- 1 左右どちらかの**ブレーキレバー**を握ったまま **[○] 電源ボタン**を 10 秒間長押しします。
パスコード入力画面「000」が表示されます。
- 2 **[M] モード切替ボタン**を押して数値を選択し、**[○] 電源ボタン**を押して数値を決定します。
- 3 最後に **[○] 電源ボタン**を 2 回続けて押してパスコードの入力を確定します。
パスコードが変更されます。

●パスコード入力を OFF にする

本体を起動してパスコード入力が完了している場合に、起動時のパスコード入力操作を OFF にできます。

- [⏻] 電源ボタンと [M] モード切替ボタンを同時に 10 秒間長押しします。
パスコードの入力が OFF になり、起動時にパスコードの入力が不要になります。

パスコード入力を ON に戻す

- [⏻] 電源ボタンと [M] モード切替ボタンを同時に 10 秒間長押しします。
パスコードの入力が ON になり、起動時にパスコードの入力が必要になります。

●パスコードをリセットする

変更したパスコードを忘れてしまったときなどは、パスコードを初期設定「000」に戻すことができます。

- 左右どちらかのブレーキレバーを握ったまま [⏻] 電源ボタンと [M] モード切替ボタンを同時に 10 秒間長押しします。
パスコードが初期設定「000」にリセットされます。
パスコード入力画面表示中に上記操作でリセットすることもできます。

日常点検とメンテナンス

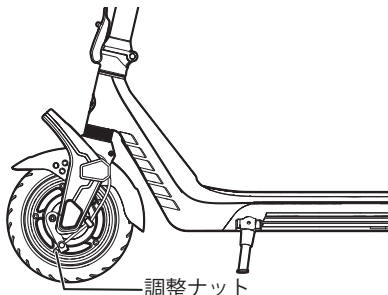
●日常点検

- **タイヤの空気圧**
タイヤ接地部のたわみ状態により空気圧が不足していないか確認してください。
タイヤ接地部のたわみ状態が異常な時は、タイヤゲージで点検してください。（正常な空気圧 340kpa）
- **タイヤの亀裂、損傷の点検**
タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷がないか、また、釘、石、その他の異物が刺さっていないか確認してください。
起動時、モーターから異音がしないかを点検します。
- **ブレーキの遊びの点検**
ブレーキレバーを軽く握り、抵抗を感じるまでのレバーの遊びが適度にあるか確認してください。
- **ブレーキの効き具合の点検**
乾いた路面を走行し、作動させた時の効き具合を確認してください。必ず広いスペースを確保し、周囲の安全を確認したうえで行ってください。
- **モーターの低速、加速の状態の点検**
アクセルレバーを徐々に押して加速した時、モーターがスムーズに回るか、異音、異臭がないか確認してください。
必ず広いスペースを確保し、周囲の安全を確認したうえで行ってください。
異常を感じたら、AVIOT カスタマーセンター（P.30）へお問い合わせください。
- **バッテリー充電残量の点検**
十分に充電を行ってから走行してください。異音、異臭がないか確認してください。
- **ヘッドライト、テールランプ / ブレーキランプの点検**
ヘッドライト、テールランプが点灯するか確認してください。
左右のブレーキレバーを握り、ブレーキランプが点灯するか確認してください。
ヘッドライト、テールランプ / ブレーキランプのカバーに割れ、大きな傷などがないか確認してください。
- **ウィンカー（方向指示器）の点検**
ウィンカー（方向指示器）のスイッチを操作し、ハンドルグリップ両端の方向指示灯が正常に点滅するか確認してください。
ウィンカー（方向指示器）のカバーに割れ、大きな傷などがないか確認してください。

●ブレーキの調節

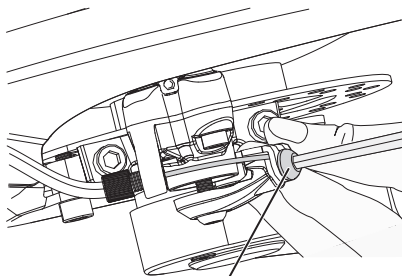
前輪ブレーキ（ドラム式）の調節について

本製品で一定期間走行した場合、ドラムブレーキの効きが緩んできます。調整ナットを適度に締めて調整してください。ブレーキが効き過ぎる場合は、調整ナットを緩めて調整してください。



後輪ブレーキ（ディスク式）の調節について

ディスクブレーキのブレーキワイヤー調整ネジを回してワイヤーの固定位置（ワイヤーの長さ）を調整してください。ブレーキワイヤー固定位置（ワイヤーの長さ）調整で解決できない場合は、AVIOT カスタマーセンター（P.30）へお問い合わせください。



●ステムボールのガタつき調整

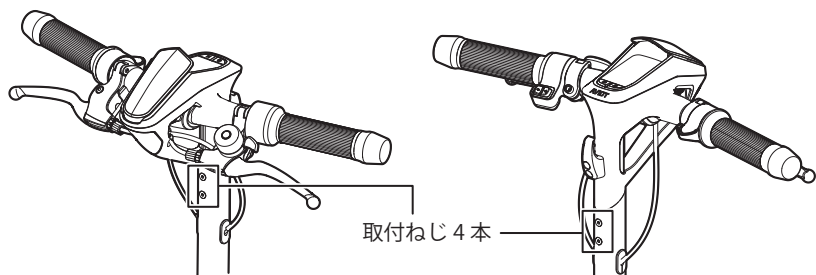
ステムボールのグラつき・ガタつきが感じられたときは位置を特定し、それぞれの調整を行ってください。

- ハンドルステムがガタつく場合（⇒「ハンドルステムのガタつきを調整する」（P.26）参照）
- 折りたたみレバー部がガタつく場合（⇒「折りたたみレバー部のガタつきを調整する」（P.26）参照）
- ステムボールと本体の繋ぎ部がガタつく場合（⇒「ステムボールと本体の繋ぎ部のガタつきを調整する」（P.26）参照）

調整を行ってもガタつきが改善されない場合は、AVIOT カスタマーセンター（P.30）へお問い合わせください。

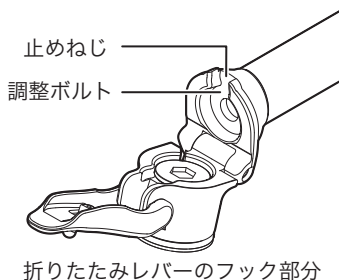
ハンドルステムのガタつきを調整する

- ステムボールとハンドルステムの接続部の取付ねじ 4 本を確認し、緩い場合は付属の六角レンチで時計回り方向に締め付けます。



折りたたみレバー部のガタつきを調整する

- 1 折りたたみレバーのフック部分の調整ボルトと止めねじを付属の六角レンチで一度緩めます。



- 2 調整ボルトの締め具合を調整し、折りたたみレバーのフック部分のガタつき調整してから止めねじで固定します。

ステムボールと本体の繋ぎ部のガタつきを調整する

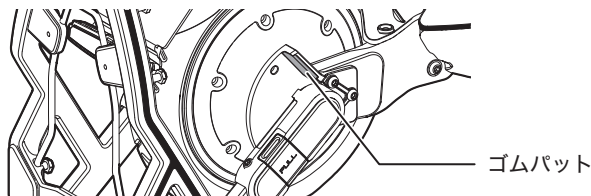
- 締め付けボルト 2 本を確認し、緩い場合は付属の六角レンチで時計回り方向に締め付けます。



●キャリーラックスタンドのゴムストッパーの摩耗、変形状態の点検

定期的に摩耗、変形状態を点検し、走行時にキャリーラックスタンドのガタガタ音があったりゴムストッパーが効かない場合はゴムパットを交換してください。

万が一予備のゴムパットを紛失した場合は、AVIOT カスタマーセンター（P.30）へお問い合わせください。



●お手入れ

お手入れの際は以下の点に注意してください。

●シャットダウンする：

お手入れの前に必ず本体の電源を落とし、充電ポートから電源コードを抜いてください。

●水を直接かけない：

高圧洗浄機やホースを使って水を直接かけないでください。本体内部に水が浸入して故障の原因となります。

●湿らせた布で拭く：

汚れがひどい場合は、湿らせた布で軽く拭いてください。

⚠️ ご注意

- ・ バッテリーや充電ポート周辺は水に触れないようにしてください。

●保管方法

【保管場所】

- 雨や直射日光が当たらない場所や車内での保管は避けてください。
- 風通しがよく、高温多湿にならない場所で保管してください。
- 平坦で安定した場所で保管してください。

【長期の保管】

- 使用していない間もバッテリーは自己放電します。最低、月に 1 度は充電をしてください。

【長期保管して再使用する時】

- 再び使用する時は、必ず充電をしてから使用してください。
- 各部の点検をしてください。

エラー表示

本体に不具合や問題が生じた場合、ディスプレイにエラー表示  が点灯して状態を表示します。主なエラーは次のとおりです。

- ER-9 エラー：
計器が 10 秒間コントローラーからの通信信号を受信できない状態です。
- ER-4 エラー：
モーターのホールセンサーの故障です。
- ER-2 エラー：
起動時にスロットル異常があった場合、暴走を防止するために発生するエラーです。

エラーが表示された場合、[⏻] **電源ボタン**を長押しして本体をシャットダウンし、再度 [⏻] **電源ボタン**を押して起動してください。それでもエラーが解消されない場合は、AVIOT カスタマーセンター（P.30）へお問い合わせください。

製品仕様

本体サイズ	1120 × 1130 × 545 mm
折りたたみサイズ	1120 × 414 × 545 mm
本体重量	約 19 kg
バッテリー容量	36 V, 10.4 Ah
モーター	インホイールモーター（後輪駆動）
推奨タイヤ空気圧	340 kpa（前後）
定格出力	350 W
最高出力	500 W
走行モード（各モードの最高速度）	歩道走行モード：6 km/h 車道走行モード：20 km/h
タイヤ	8.5 インチ 空気入りタイヤ（前後後輪共）
前輪ブレーキ	ドラムブレーキ
後輪ブレーキ	ディスクブレーキ
警告器	機械式ベル
車体材料	マグネシウム合金
その他のパーツ	ABS + PC
充電温度	0 - 40° C
安全機能	過熱保護、短絡保護、過電流保護、過充電保護
入力電圧	AC 100 - 240 V ~ 50/60 HZ
最大荷重	100 kg
充電時間	約 4 時間
航続距離	35 - 40 km ※自社試験。
制動距離	<10m ※路面状況によって異なる場合があります。
最大登坂角度	14%（傾斜角約 7.97°） ※路面状況や使用状況によって異なる場合があります。
動作温度	-10 - 45° C
保管温度	-25 - 50° C
防水性能	IP54 ※ 1

※ 1 完全防水ではありません。

保証書

型式	KB-S350	車台番号	
お客様	フリガナ		
	お名前		
	ご住所 千 ー		
	電話番号：() ー		
お買い上げ日		販売店名・住所・電話番号	
年 月 日		電話番号 () ー	

【ご相談窓口】

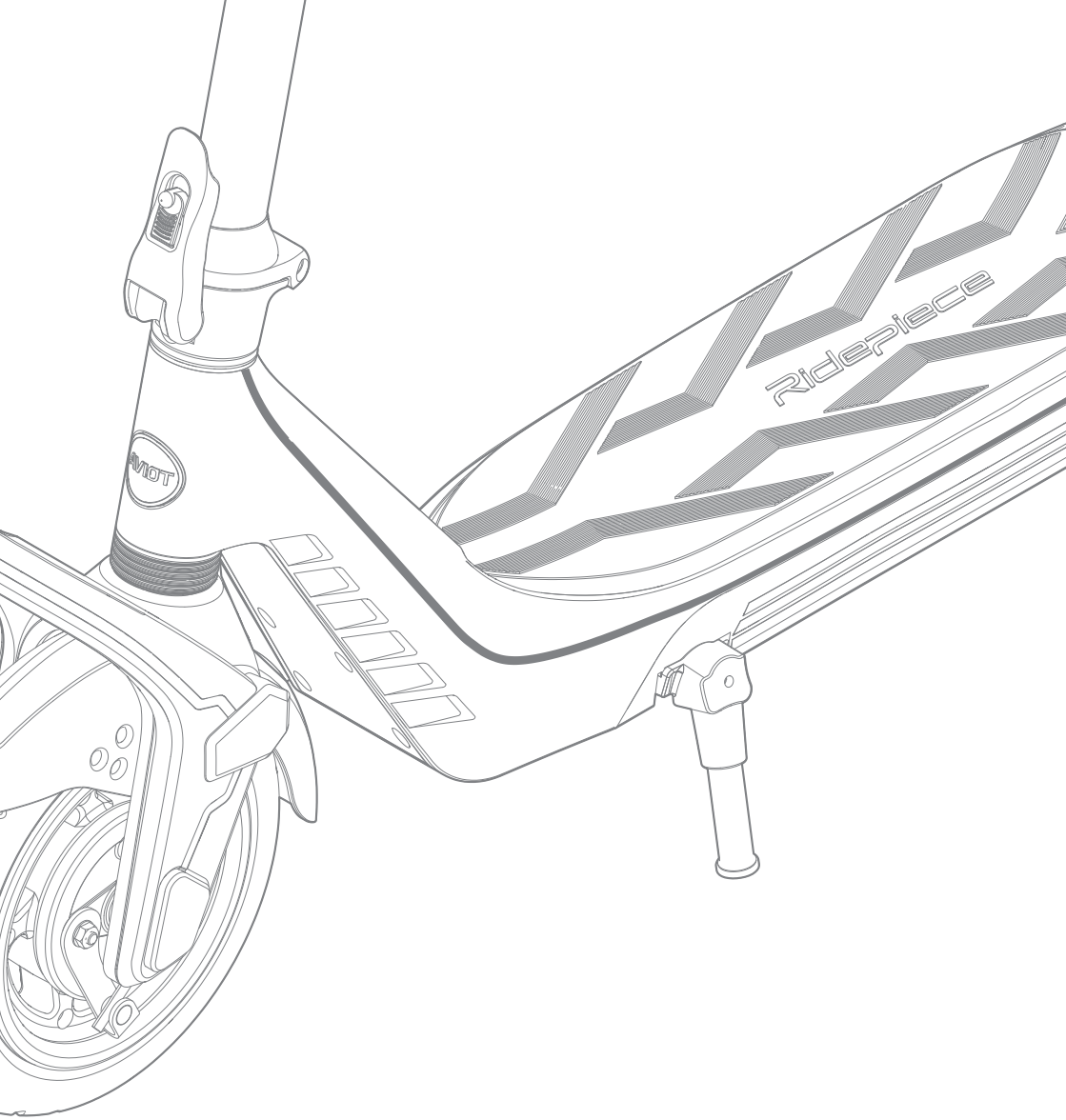
〈AVIOT カスタマーセンター〉



この保証書は、本書記載内容で無償修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき弊社が無償修理いたしますので、商品と本保証書をご用意のうえ、AVIOT カスタマーセンターまでご連絡ください。

- 保証期間内で次のような場合には有償修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、塩害、輸送などによる故障または損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変ならびに公害や異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
 - 車両、船舶への搭載や、極端な高温、低温、多湿、埃の多い場所などで使用された場合の故障または損傷。
 - 一般家庭以外（例えば業務用など）で使用された場合の故障または損傷。
 - 表面的な損傷の場合。（かすり傷、へこみなどを含みます）
 - 高温多湿の場所など保存上の不備、経年劣化、自然消耗による瑕疵の場合。
 - 液体侵入、タイヤパンク、外観損傷 / 傷、転倒、交通事故など人為的な原因による破損。
 - 過積載走行、階段走行、飛び降り走行、エクストリームスポーツ使用など明らかに使用範囲を超えていることによる破損。
 - 付属品や消耗品などの場合。（ただし、損害が材質上または製造上の瑕疵により生じた場合はこの限りではありません）
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本機のご購入を証明するシート等の証明書が無く、本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名が確認できない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 保証期間内でも、商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合があります。
- 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
- 本書に基づく無償修理（製品交換を含みます）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
- 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（Effective only in Japan）

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。



AVIOT